



2015年8月27日 第2203回例会
8月第3例会

RIテーマ Be a gift to the world

「世界へのプレゼントになろう」

本年度会長テーマ

「ロータリーを通して、互いに親しみ触れ合おう」

「会員増強・新クラブ結成推進月間」

◆ 会長時間 ◆

金本会長



本日は、国際ロータリー第2710地区東良輝ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問例会です。

皆さん既にご承知のとおり、本年度RIテーマ「世界へのプ

レゼントになろう」並びにラビンドランRI会長の強調事項を踏まえて、東ガバナーは、地区運営の基本方針を「ロータリーの基本に戻ろう」とされ、ガバナー信条を「ロータリーの原点に立ち戻り、輝かしい未来の礎を築こう」とされました。後ほど卓話を頂きますが、このあたりのお話もお聞きできるものと楽しみにしています。例会終了後のフォーラムと合わせましてよろしくお願ひいたします。

さて、今週23日の日曜日に「地区指導者育成セミナー」が開催され、出席してきました。私と会員組織部門上田理事が会員増強部門のセミナーに、財団部門香川基吉理事とロータリー財団前橋委員長がロータリー財団部門のセミナーに出席いたしました。今月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」でもありますが、増強関係では次のような話が印象的でした。

① 会員数の減少はロータリー活動の縮小へとつながることとなり、RIはこのことに大きな危機感をもっている。この危機への対策として、ロータリー110年の活動の理念をまとめ

たものが戦略計画である。これは各クラブが強くなり活性化することを目的としてRIが作ったものである。各クラブ会員もこれを十分理解して頂きたい。

② そして各クラブにおいても戦略計画委員会等の委員会を組織して中・長期の戦略計画を策定し、その中に会員増強目標を盛り込んで頂きたい。

③ 新会員候補の推薦は会員としてクラブへの恩返しである。従って一人ひとりが増強に取り組む姿勢を持って欲しい。

④ 会員増強に際しては、40歳以下の若年層の割合が15%確保できるよう目標を立てて欲しい。それがクラブの継続的発展につながる事となる。

⑤ 女性会員も最低でも5%を目指して欲しい。

⑥ 会員減少は、言うまでもなく入会者より退会者の方が多いということである。会員増強に加え会員維持（退会防止）のための対策を考え実行して頂きたい。

私たちも全員参加で会員増強・会員維持に努めたいと思います。

☒ 物故会員に黙祷

広島北RC 古谷 敏明（ふるたに としあき）
会員（広島トヨベツト（株）代表取締役社長）が、病氣療養中のところ8月19日（水）午前11時30分にご逝去されましたので、謹んでお知らせいたします。（享年71歳）

☒ ガバナー公式訪問ご来賓紹介

東 良輝 ガバナー
有田 幸一 ガバナー随員 地区副代表幹事
中村 哲朗 グループ7ガバナー補佐
斉藤 昭一 グループ7ガバナー補佐幹事
東ガバナーに記念品の目録贈呈



有田地区副代表幹事に記念品贈呈



● 会務報告

梶本幹事

※公益財団法人ボーイスカウト日本連盟より第23回世界スカウトジャンボリーの礼状が届きましたのでご報告致します。

※例会終了後、ガバナーを囲んでのフォーラムを3階カトレアにて開催いたしますので、ご出席をお願いします。

● 第2回理事会報告

承認事項

- ①第1回理事会議事録
- ②会員候補者1名入会手続き開始
- ③社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会2事業への後援依頼
- ④RI第2710地区RYLA参加活動計画
- ⑤RI第2710地区第39回インターアクト地区大会参加活動計画
- ⑥「なぎさ園」支援事業電動車イス寄贈活動計画
- ⑦青少年交換学生送別会活動報告書
- ⑧会員組織部門強調プログラム
- ⑨新会員勧誘のための冊子作成
- ⑩10月度例会卓話

⑪9月17日会報雑誌・広報委員会強調プログラム

⑫ガバナー公式訪問フォーラム議題

報告事項

- ①2015-16年度 ロータリー青少年指導者育成プログラム (RYLA) 募集
- ②2016-17年度 ロータリー財団奨学生募集
- ③第1回合同幹事会及び8月特別月間名称変更
- ④7月度収支計算書報告

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 小田委員長

本日 (8月27日・木曜日)

会員数 81名 出席者 74名

欠席者 7名 ご来客 1名

ご来賓 2名 ゲスト 0名

計 77名

前々回 (8月6日・木曜日)

出席率 100%



※ ロータリー情報委員会 諏訪(昭浩)副委員長

ロータリーの奉仕理念Ideal of Service (奉仕の理想)を表現する2つのモットー(標語)

ロータリーの奉仕理念 Ideal of Service (奉仕の理想)を表現する2つのモットー(標語)は、He profits most who serves best (最も良く奉仕するもの最も多く報いられる)と Service above self (超我の奉仕)です。

Service above self は誰がいつ作ったのか不明ですが、1911年のポートランド大会の余興クルーズで、ミネアポリス・クラブの会長フランク・コリンズがミネアポリス・クラブに既に定着していたこの言葉(当初は Service not self)をたまたま引用したのが始まりです。

「超我の奉仕」というと「自己滅却の奉仕」のように聞こえますが、そうではなく、当初は、従来行ってきたロータリアンの相互扶助をロータリアン以外にまで広げようという意味でした。その後、1927年に四大奉仕(現在は五大奉仕)が採用されて以来、他人のことを思いやり他人のために奉仕するという、いわゆる「社会奉仕」の理念を推奨するモットーに変化し、「人道的奉仕活動」の理念として成長し現在に至ります。He profits most who serves bestの提唱者はアーサー・フレデリック・シェルドンです。シ

エルドンは経営学の大家で、彼はこの言葉をロータリーのためにわざわざ作ったのではなく、元々はその販売学の文献で使っています。当時、いらぬものをだまして押しつける卑しい職業と軽蔑されていたセールスマンの仕事を、経営学に沿って、「利己と利他の調和」を前提に、継続的な利益をもたらす顧客を確保する活動であると定義して、それを説明するためにこの言葉を用いました。その後、1927年の四大奉仕採用で「職業奉仕」という概念が誕生すると、「職業奉仕」の理念へと変化して定着しました。

以上のような意味の変遷を経て、現在ではService above self は主に「人道的奉仕活動」の理念として、He profits most who serves best は「職業奉仕」の理念として定着し、2つが一体となってロータリーの奉仕理念であるIdeal of Service を表現しています。

● 会員記念日

🌸 創業月おめでとうございます。

(6名)

浜田君 浜田木材(株) 香川(基)君 (株)福屋
 笹野君 おおたけ(株)
 木村君 木村公認会計士・税理士事務所
 前橋君 三洋スーパースタンド(株)
 松田君 弁護士法人広島メープル法律事務所

🏠 ご入会記念月おめでとうございます。

(4名)

藤田君 (S 60年) 中村君 (H 2年)
 川西君 (H 2年) 上田君 (H12年)



🌸 奥様お誕生日おめでとうございます。

(10名)

新本君	真希子夫人
中岡君	桂子夫人
片山(恵)君	友香夫人
鮫島君	雪子夫人
松岡(幹)君	淳子夫人
梶君	真澄夫人
古本君	ひろみ夫人
片山(常)君	恵美夫人
岡野君	泰子夫人
児玉君	留美子夫人

👑 7月決算月おめでとうございます。

(1名)

宮崎君 (株)仏光社



● スマイルボックス

S A A 吉田副委員長

😊 RI第2710地区東ガバナー

本日、公式訪問でお越しいただきました東ガバナーより、御厚志をいただきました。スマイルボックスに入れさせていただきます。ありがとうございました。

😊 羽井君 (自主申告・大枚)

娘に3人目の外孫が誕生しました。

😊 小橋君 (自主申告・大枚)

このたび弊社は平成27年8月より本社を移転することとなりました。電話番号も変更となりました。お手数ですが登録の変更などよろしくお願い申し上げます。

関連して、新社屋の建設にご協力頂いた森信君(ダブル)、古本君、浜井君、梶本君、出宝をお願いします。

😊 吉田君 (自主申告)

弊社菱光産業は創業56年目にして初めて女性総合職の新卒の採用がこの程決定しました。男性もなかなか続かない鉄鋼製品の現場で研修を頑張った彼女にエールを送ると同時にこの業界では珍しい女性営業として早く一人前になってくれればとダブルで自主申告します。

😊 経済レポート「支店長」から 佐久間君

「今年は支店開設70周年、『原点回帰と新たな挑戦』をスローガンに掲げ、お客さまから戸田建設に頼んでよかったと言われる支店を目指す」JR広島駅南口の愛友市場のあったCブロック再開発事業では、設計・建設を担う。

ということで広島の新しい玄関口の開発成功を祈念して出宝をお願いします。

😊 金本会長、上田副会長、梶本幹事、荒川、原 両副幹事、森信直前会長

今年度初めての夜間例会が「うを久」にて行われ、金本会長はじめ執行部による息の合ったコーラスと社交ダンスが披露され自称「やっかいなオジサンたち」にアンコールも飛び出しました。同時に会員相互の懇親もはかられ、すばらしい夜間例会でした。

金本会長、上田副会長、梶本幹事、荒川、原

両副幹事、また初めて乾杯の音頭をとられた森信直前会長、出宝お願いします。

😊 新会員の皆様

今年度は多くの新入会員が入会され、当日は美しい女装で楽しませて頂きました。応援に来ていたお姉さま方と見分けるのに大変でした。林田君、野嶋君、佐久間君、穴戸君、山縣君、隅田君、出宝お願いします。

■ ガバナー卓話



国際ロータリー第 2710 地区
2015-16 年度ガバナー

東 良 輝 氏

2015-16年度の第2710地区ガバナーを仰せつかりました東でございます。所属は宇

部西ロータリークラブです。今年度微力ながら、皆様とともにロータリー活動の普及に全力を捧げて参りたいと思いますので、ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

また、今日は公式訪問に際しまして温かい歓迎を賜り、感激をしているところでございます。これこそが、ロータリーが創立時から大切にしてきた友愛の証であると思い、深く感謝申し上げます。

さて、今年度のRI組織でございますが、既に、「ロータリーの友」7月号に掲載され、皆様よくご存じのことと思いますが、ここで改めて紹介します。今年度のRI会長はK. R. ラビンドラン氏（コロンボRC、スリランカ）です。彼の下に、ジョンF. ジャーム会長エレクト（チャタヌーガRC、アメリカ・テネシー州）、グレッグE. ポッド副会長（エバグリーンRC、アメリカ・コロラド州）、以下17人の理事で構成されており、日本からは杉谷卓紀氏（玉名RC、熊本）が昨年度に引き続き選任されております。また、事務総長は昨年度に引き続きジョン・ヒューコ氏（キエフRC、ウクライナ）が就かれておられます。

ロータリーの組織につきましても、RIの下に直接各ロータリークラブが所属しており、ガバナーはRIの役員として所属し、地区では会員の研修が主な役割となっております。また、ガバナーはRIからの通達を各クラブに伝えると同時に、各ク

ラブからの意見をRIに伝えるメッセンジャーの役割も担っております。

そこで、本日の公式訪問では、今年1月にアメリカ・サンディエゴで開催されました国際協議会で提示されたRIテーマおよびラビンドランRI会長のメッセージをお伝えし、その「テーマ」に沿って、私が立てました地区運営方針についてご説明したいと思います。

この度、ラビンドランRI会長が示されたテーマは「Be a gift to the world」「世界への贈り物になろう」です。その意図するところについて、ラビンドランRI会長は講演の中で「生まれると同時に、私たちはいろいろなものを授かります。最初に授かるものは命です。そして、愛、思いやり、家族を授かり、教育、健康を授かり、学びを通じて才能と能力を授かります。人生において、親、友人、伴侶、子ども、生計手段、物質的な豊かさなどは、どれも私たちに授けられたプレゼントです。（中略）皆さんはどう思いでしょうか。このような有り難いプレゼントに、一体いくつ恵まれてきたらどうか、と。私は自分に、そして皆さんに、次のように問います。どうしたらその恩返しができるでしょうか？」と語られています。

また、私たちが今やるべき最重要課題は「ポリオの撲滅」であると強調されました。その理由として「25年以上前に私たちがポリオ撲滅の誓いを立てたとき、125か国にポリオが常在し、毎日1,000人以上の子どもがポリオによる麻痺障害を患っていました。現在、ポリオ常在国は3か国、昨年の統計ではポリオ症例数はわずか333名となりました。そのほとんどがパキスタン一国からの報告です。この国で私たちが闘う相手はポリオウイルスだけではなく、無知、残忍さ、抑圧の力です。私たちの課題はワクチンを子供たちの口に届けるだけでなく、殺戮者たちから予防接種従事者を守ることにあります。（中略）私たちは闘い続け、必ず勝利します。なぜなら私たちは、ポリオのない未来をプレゼントすると世界の子どもたちに約束したからです。私たちは必ずこのプレゼントを子供たちに贈ります」と強い口調で強調されました。

さらにロータリーの現状についても厳しく指摘

されており、「ロータリーは膨大な可能性を秘めています。しかし、多くのクラブや地区の現状に目を向けるとロータリーのあるべき姿が映し出されていません。当組織を形作った基本に立ち返る方法を見つける必要があります。それは人生のあらゆる場で倫理基準、そして、各クラブに会員の多様性をもたらす職業分類です」と職業倫理の確立と職業分類の重要性を強調され、さらに「今日ロータリーを一世紀前と同じように語りながら、それと同時にロータリーの成長を期待することはできません。私たちは、今、新しい現実に生きています。ブランディングの新たな取り組みは、確かに必要なことです。世界の多くの地域で薄れつつあるロータリーのイメージをあらためて明確に打ち出す必要があります」とロータリーの改革と公共イメージの向上についても述べられました。

ロータリー財団に対しても「ロータリー財団への寄付をもっと奨励し、もっと多くの善いことを行いたいと考える一方で、しつこくお願いをしたり、あまりの高額な寄付をお願いすれば会員は離れてしまいます」とその在り方にも言及され、贈り物についても、高価なものではなく、思いやりのある、心のこもった贈り物の方が貴重であるとも強調されています。

以上より、ラビンドランRI会長の演説の意味するところは ①ポリオ撲滅 ②ロータリー誕生時の基本に立ち返る（特に職業倫理、職業分類）さらに、③ロータリーが更なる発展を遂げるためには現状に合った変革も必要 ④財団への協力 ⑤公共イメージ向上等であると思われます。

私はこれらのRI会長の強調事項を踏まえて、2015-16年度の第2710地区の運営に際しまして、その基本方針として「ロータリーの基本に戻ろう」とし、ガバナー信条を「ロータリーの原点に立ち戻り、輝かしい未来の礎を築こう」と致しました。

ロータリーの原点とはどのようなものでしょうか。私が察するところでは、ロータリー創立の精神、即ちロータリーの心ともいえるもので ①友情（友愛）と親睦 ②寛容の精神と奉仕 ③職業奉仕と職業分類 と思っています。このロータリーの心を肝に銘じながら、地区運営に邁進したい

と思います。よろしく申し上げます。

○2015-16年度 地区運営の重点項目

- ① 会員基盤の充実（例会の充実、出席率の向上、退会防止、会員増強 特に女性、若い人への勧誘）
- ② 充実した奉仕プロジェクト（クラブ、職業、社会、国際、青少年奉仕等）
- ③ 公共イメージと認知度の向上
- ④ 財団への寄付と地区補助金の積極的な活用（ポリオプラス基金、年次基金、恒久基金への寄付、地区補助金、グローバル補助金の活用等）
- ⑤ 米山奨学会事業への理解と支援（米山奨学会への寄付、奨学生の受け入れ等）
- ⑥ 地区とクラブ、クラブ間の円滑な情報伝達（MY ROTARYへの登録、Webの活用等）
- ⑦ リーダーの育成（RLIへの参加等）

○2015-16年度 地区・クラブにおいて達成して頂きたい数値目標

- ① 会員増強 純増1人以上/クラブ
- ② ロータリー財団への支援
ポリオプラス基金 35ドル/1人、
年次基金 150ドル/1人
恒久基金 ベネファクター1名以上、または1,000ドル以上/1クラブ
ロータリーカードへの理解と支援
- ③ 米山奨学会への支援 16,000円/1人
これはあくまでも目標です。各クラブはクラブの事情に合わせて目標を設置していただければ幸甚です。

○ロータリーの戦略計画

・価値観を行動に

私たちは親睦を通じて生涯にわたる友情をはぐくみ、国や文化を超えた理解を促します。私たちは高潔性をもって約束を守り抜き倫理を守ります。

多様性を誇るロータリーはさまざまな考え方をつなぎ、多角的なアプローチで問題に取り組みます。

私たちは奉仕を通じてリーダーシップと職業のスキルを生かし、地域社会の問題に取り組みます（中核的価値観 ①親睦 ②高潔性

③多様性 ④奉仕 ⑤リーダーシップ)

・戦略的目標

①クラブのサポート強化 ②人道的奉仕の重点化と増加 ③公共イメージと認知度の向上

○各クラブの戦略計画

- ① 各クラブに戦略計画委員会を立ち上げる
- ② 戦略計画を立案する
- ③ 将来への数値目標を立てる
- ④ 将来にわたり持続可能なプロジェクトを立案する

○2015-16年度ロータリー財団の優先項目と具体的目標

優先項目1：永久にポリオを撲滅する

優先項目2：ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる

優先項目3：財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める

優先項目4：ポリオプラスにおける成果と「世界で良いこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める

○RI会長賞への挑戦

① 必須項目

- ・少なくとも15のクラブ目標をロータリークラブセントラルにを入力する。
- ・7月の半期人頭分担当金を、期限までに支払う

② 会員の増強と維持 (4項目から3項目達成)

③ 財団への寄付 (4項目から2項目達成)

④ オンラインツールの利用 (4項目から2項目達成)

⑤ 人道的奉仕 (7項目から3項目達成)

⑥ 新世代 (4項目から2項目達成)

⑦ 公共イメージ (2項目から1項目達成)

○そのほかの地区、クラブに課せられている当面の課題

① 東日本大災害への支援活動

② ロータリー平和センターへの支援

- ・ロータリー平和センターへの寄付

- ・ロータリー平和フェローの育成 (第2710地区での人材探し)

○地区大会への参加のお願い

・10月24日(土) 大会諸委員会 歓迎昼食会

ANAクラウンプラザホテル宇部

・10月25日(日) 本会議

渡辺翁記念会館

・10月26日(月) 記念ゴルフ

宇部72カントリークラブ 東コース

結語

ロータリークラブとは、ロータリーの奉仕哲学を実践する代表的な職業人の集まりです。

良質な職業人で構成されており、1業種1会員を原則としております。ロータリーの奉仕哲学とはそれぞれの職業を通じて、奉仕の理想の追求と実践を目的とするものです。そのために各ロータリアンはそれぞれで職業倫理の確立に努力しなければなりません。(ロータリーの目的、ロータリアンの行動規範)

第7代RI会長のレスリー・ビジョン氏はロータリーの第1の目標は各個人をその日々の仕事にロータリーの哲学を関連させることにある。そのため、ロータリークラブはその会員をしてそれぞれの日々の仕事に奉仕の理念を体得するよう教育しなければならないと同時に他方においては組織としての各ロータリークラブの力を強めるためにそれと違う異質の奉仕が必要だということを見逃してはならないと説かれ、キップリングの「ジャングルの法則」の中の「群れの力は狼の力である。そして、狼の力は群れの力である」を引用されて、ロータリアンならびに各ロータリークラブの力の結集を強調されています。

私は今年度、各ロータリアンがそれぞれの職業を通じて、奉仕の理念を追求、実践されるとともに各クラブはそれぞれのロータリアンの力を結集させ、また、新たに素晴らしい大型のプロジェクトに挑戦され、第2710地区のすべてのロータリークラブがより力強く発展されることを願っております。これを現実のものにするには、まずは会員増強と出席率の向上です。ご健闘をお祈りいたします。

● 卓話予告

日時	テ マ
9/10(木)	「ベトナム交流学習セミナー (広島修道大学)を実施して」 広島修道大学商学部教授 Nguyen Duc Lap 氏

フォーラム

ガバナー公式訪問に際し、フォーラムが開催され、次の五つの質問事項について東ガバナーのお考えを聞かせていただきました。

○会員組織部門

「効果的なロータリー情報とは」

ロータリー情報委員会 諏訪 昭浩 副委員長

○職業奉仕部門

「職業奉仕の考え方について」

職業奉仕委員会 垂井 俊郎 副委員長

○社会・青少年奉仕部門

「社会・青少年奉仕部門のテーマ選定や活動のあり方について」

社会・青少年奉仕部門 梶 泰起 理事

○国際奉仕部門

「国際親善活動におけるロータリーのはたすべき目的について」

国際奉仕部門 土井 英幹 理事

○財団部門

「財団の役割の範囲について」

財団部門 香川 基吉 理事





例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 金本 善行
幹 事 梶本 政明

広島西RC **検索** 

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会